

# 制度検討に入る前に

(前回までの議論の確認含む)

# これまでの確認など

- 登録制度に関するご指摘
  - 登録更新制度は意義あり(人や質の識別ができる)
  - 各ステークホルダーにとっての制度の意義は様々
  - セキュリティスペシャリスト試験をベースに
  - スモールスタートで
  - 半ば強制的な普及策を
- セキュリティ全般にわたるご指摘
  - セキュリティ対策は、登録制度だけでなく社会全体で総合的に(個人も組織も、ベンダもユーザも、中小も)
  - 分野の広いセキュリティでは、細分化して考えるとよいこともある

# 制度検討の基本方針

- 各ステークホルダーにとって意義のある制度設計
  - 登録者
  - 雇用企業たるITベンダ
  - 顧客企業たるシステムユーザ
  - 制度運営主体たるIPA
- 制度設計の基本方針
  - 認知度や社会的評価(取得・登録の簡便さ、普及度、権威)
  - ベネフィット(人件費単価、他社との差別化)
  - 品質(調達や人材採用の基準)
  - 運営の持続可能性(登録者の規模とコスト)